

すいた市議会通信

Suito Shimin Jichi

SSJ NEWS



いげぶち佐知子

吹田市議会 すいた市民自治 〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL:06-6384-1231(代表) E-mail:info@shimin-jichi.net URL http://shimin-jichi.net

「すいた市民自治」会派は「市民が主役の社会」の実現をめざし、活動してまいります。

すいた市民自治のいげぶち佐知子です。9月定例会の報告を中心にお知らせいたします。

さて、政務活動費の支出に関して、元兵庫県議、野々村被告が詐欺罪などで執行猶予付きの有罪判決を受けたと思ったら、今度は富山市議会をはじめとする、またぞろ政務活動費の不正な支出が報道され、議員辞職者が続出し、補欠選挙が行われるとのこと。吹田市議会はどうなの？大丈夫？との市民からの声をお聞きしています。吹田市議会の状況について、以下ご報告いたします。

市議会の政務活動費は？

1. 金額

政務活動費は、議員一人当たり11万円/月、3か月ごとに、会派に対して交付されます。

2. 支出

「吹田市議会政務活動費の交付に関する条例」「吹田市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則」に基づいて、会派の代表者が支出決定し、支出は会派の経理責任者が支払伝票に基づいて行います。

このとき、領収書あるいは領収書に代わる書類（たとえば、銀行振込伝票など）を添付しますが、どこかの議会のようにコピーは不可で、原本を添付します。また、一定金額以下は領収書等の添付が不要になっている議会もあるようですが、吹田市議会の場合は、1円以上、つまり全ての支出に領収書等の添付が必要です。

3. 検査

領収書類、会計帳簿など必要な書類を会派の経理責任者が作成し、議長に提出します。それらの書類について議会事務局職員が検査し、不明点があれば会派あるいは議員個人に問い合わせをし、不明な支出がないようにします。

4. 情報提供

費目別に金額をまとめた収支報告書は、吹田市議会HPで公開（情報提供）しています。

また、支払伝票や領収書等、会計帳簿については、公文書公開請求があれば、個人情報保護にかかる部分を黒塗り等したのち公開しています。

今後に向けて

領収書等をインターネット公開するには、事務作業が負担にならないか？といった意見もありました。しかし、市民の貴重な税金である以上、積極的な情報提供が必要です。先進自治体議会に習い、インターネット公開することについて、現在、議会運営委員会で前向きに検討しています。

質問時間の短縮 反対!!

「議会質問時間が長いと議会の終了時間が遅くなり、待機している職員の残業が増える。質問時間を減らそう」と議会運営委員会で提案がありました。結果、一人当たり20分の質問時間が、試行的に9月定例会から15分に短縮されました。私は、議会での質問や質疑が議員としての大きな仕事の一つであり、議員自らがその時間を削ることと、職員の残業とは別次元のことであり、一緒に考えるのはおかしいと考えます。残業手当が削減されても、議会の力が弱まることのほうが重大であると考え、短縮には反対です。

いけぶち

災害時の避難所に何があるか。だれにでもわかる表示にせよ

危機管理監

子ども、外国人も含め、避難を必要とするすべての住民に向けた避難所表示の在り方を研究し改善していく。「防災ハンドブック」等を通じ、必要な方に必要な情報をわかりやすく届けられるよう、より一層、内容の精査を進める。

いけぶち

子育て世代も参加しやすいように、審議会等開催時に委員あるいは傍聴者のため託児サービスを実施せよ

行政経営部長・市民部長

子育て世代の委員が少ないことは認識している。市民参画推進のためにも、できるところから託児サービスを実施していきたい。

いけぶち

債権放棄の大部分は水道料金・メーター料である。これらの債権放棄件数、金額は減少するのか。

水道部長

債権をためないことが減少につながる。H26年度発生 of 債権は翌年度末までに約99.95%徴収済みであり、改善してきている。今後も滞納の早期解決を図り、滞納債権の圧縮に努める。

いけぶち

「地域公共交通」の活性化から「地域社会」の活性化へシフトチェンジせよ ➤右上げ

土木部長

市内に交通不便地域が存在することは認識している。公共交通の導入には地域住民との連携・協力は不可欠である。住民意識調査やニーズ調査を含め、地域住民と協働して進めていきたい。

いけぶち

「生涯活躍のまち」(健都版CCRC)に若い世代も呼び込め

*「健都」とは、北大阪健康医療都市(旧吹田操車場跡地)の愛称

*CCRCとは、「Continuing Care Retirement Community」の略で、直訳すると「継続的なケア付きの高齢者たちの共同体」のこと



健康医療部長

高齢者だけでなく若い世代も含めた多世代交流を図ることで、健都ならではの取り組みにつながると考えている。ここでの知見を活かした取り組みを、他の地域でも進めることで、市域全体の健康寿命の延伸を図っていきたい。

市長

幸齢社会(幸せに齢を重ねる社会)を作りたい。

議会傍聴に託児サービス開始

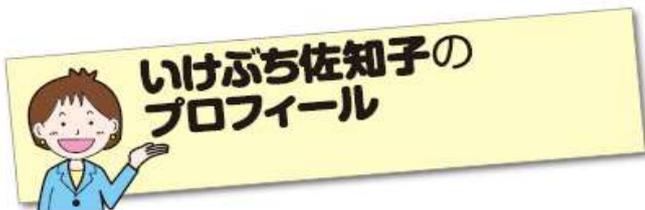
5月定例会で予算が付き、9月定例会から、本会議質問の1日目、2日目の二日間、ご希望の傍聴者に託児サービスを実施します。1枠2時間、1枠あたり定数4人(生後12か月～就学前まで)です。事前申し込みが必要です。希望する日の1週間前までに議会事務局にお申し込みください。

9月定例会では一人の希望者がありましたが、残念ながら、子どもさんの発熱のためキャンセルとなりました。

11月定例会も実施しますので、ぜひお申込みいただき、お子さん、お孫さんのいらっしゃ



る方もお気軽に傍聴してください。託児は12月2日(金)と5日(月)の本会議に実施します。



いけぶち佐知子のプロフィール

- 1957年/和歌山県生まれ。
 - 1979年/大阪大学薬学部卒業。薬剤師免許取得。
 - 1994年/吹田市立女性センターに就職。地域の開発問題をきっかけに政治に関心を持つ。
 - 1999年/市民のための市政を求めて立候補し、当選。
 - 2015年/市議会議員5期目スタート。現在に至る。
- 子育て・教育・福祉・環境、まちづくりの市民活動にかかわる。百条委員会委員(2012~13年度)。吹田市監査委員(2013年度)。議会事務局研究会会員。「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ。